

2010年2月1日

アオスタジオ、「Pipeline HD Dual」で 新しい MA・ビデオ編集のワークフローを確立

エンターテインメント業界向けにデジタルコンテンツ関連ビジネスを展開しております、シリコンスタジオ株式会社（代表取締役社長 寺田健彦、本社 渋谷区恵比寿、電話 03-5488-7070(代表)）（以下、シリコンスタジオ）は本日、弊社が販売取り扱いをしております、米 Telestream 社の「**Pipeline HD Dual**（パイプライン・エイチディ・デュアル）」が、アオスタジオ株式会社様（以下、アオスタジオ）の MA および映像編集ワークフローの利便性を図るツールとして採用されたことを発表いたします。

Pipeline HD Dual（以下、Pipeline）は、ネットワーク上に配置する、HD/SD-SDI ビデオ及びオーディオのキャプチャ、再生デバイスです。SDI 系統を持つデッキをネットワーク上で制御したり、ライブ素材を取り込んだりと様々な環境でフレキシブルにエンコーディングが行えます。Apple 社の FinalCut Pro（以下、FCP）といった汎用編集システムからキャプチャデバイスとして認識されるため、複数ユーザで共有キャプチャデバイスとして利用することができます。

アオスタジオでは、映像・音響に関する素材は、全てセントラル・コンテンツサーバに保管され、各編集室のシステム間でやりとりが行われています。今回導入採用されました Pipeline は、MA で使われているデジタルオーディオ編集システムが必要とする映像素材を、映像編集側主導でキャプチャおよびフォーマット変換する作業をメインに使われています。

「導入のきっかけは当初、MA 側の複雑なワークフローを改善できるツールを模索していたところからです。従来のワークフローでは、映像素材をアビット社の ProTools が対応できるフォーマットにするため、同システム内にある FCP で個別にテープから素材を取り込み、そしてフォーマットを変換するという、マルチステップの手間が発生していました。」と、アオスタジオ株式会社のスタジオ技術部ポストプログループ、コンピュータ・システム管理担当の山川朋浩氏は語っております。

「弊社では劇場用番宣の編集を多く請け負っているのですが、1 つの番宣でも尺の長さからフォーマットの違いまで様々なバージョンを制作することになります。これら映像素材の音声処理を ProTools で作業するにあたり、素材をいちいち FCP を通して行わなければなりません。音も本編素材といった 2 時間尺だと、6 ロール分はあります。FCP を使って手動で取り込みをするのは、オペレーターにもシステム自身にもかなりの負担になります。MA が、このような複雑な作業をせずに、音だけに集中して作業できるようにするため、FCP から Pipeline で簡単に素材の取り込みと変換ができるシステムを構想しました。」

「ところが、Pipeline がアビッド編集環境にも適応しているということで、映像編集と同時進行で MA 処理作業を行える可能性が出てきました。今までは、アビッドでもオートデスクシステムでも、映像編集後はテープ媒体で MA 側へ受け渡しをすることが多く、そうすると、また様々なバージョンの素材を1つ1つ FCP に通してフォーマット変換を行わなければなりません。Pipeline を使えば、映像編集側でプレビューをしていると同時に、オフラインフォーマットに変換してサーバに転送できます。MA 側がその映像データをサーバからコピーしてすぐに編集に入れることで、作業工程数も作業時間も抑えられるワークフローが実現しました。またクライアント側から、“ムービーが欲しい”と突発的に依頼が来ても、Pipeline を介して簡単に提供できるようになったことも大きな利点です。」

Pipeline HD Dual は、アオイススタジオを始め、国内外の主要プロダクションや放送局に採用され、ファイルベース映像制作ワークフローの利便性とトータルなコストパフォーマンスを向上できるシステムとして高い評価を得ております。

シリコンスタジオでは、この製品を一貫したファイルベースワークフローに有効なシステムとしてプロダクション・オン・タイムのニーズに応えるシステム環境を提案してまいります。

###

● シリコンスタジオ株式会社について

シリコンスタジオ株式会社(シリコンスタジオ)は、エンターテインメントの業界で、デジタルコンテンツに関する事業を幅広く展開するために 2000 年 1 月 1 日に設立されました。シリコンスタジオは 2009 年、新たな CI と共にエンターテインメントの一步先をいく『EnterNext』を掲げ、より積極的に、より発展的に、エンターテインメントの新たな可能性と価値を生みだしていきます。シリコンスタジオは、レンダリング技術の研究&開発、ゲームコンテンツ開発、コンテンツ制作環境やプロフェッショナル映像システムのインテグレーションとデジタルクリエイター派遣の 4 事業を中心に、業界最高峰の技術提供を行いながら、“創る人”、“愉しむ人”に感動を与えられる企業を目指しております。

■ PipeLine HD に関するお問い合わせ先

シリコンスタジオ株式会社
ソリューション営業本部
TEL:03-5488-7070(代表)

■ 本リリースに関するお問い合わせ先:

シリコンスタジオ株式会社
コーポレートパブリックリレーションズ
担当: 山下
E-Mail: pr@siliconstudio.co.jp